

5年生が社会科見学を行いました！

昨年の5年生は、この時期に社会科で学ぶ自動車産業の学習のために宮田町の「トヨタ自動車」に社会科見学に出かけていました。しかしながら今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、「トヨタ自動車宮田工場」での受け入れが中止されました。そこで、5年生教室で、リモートでの工場見学を行いました。電子黒板に映し出された案内ガイドの方と会話をしながら工場の作業の様子ビデオを見たり、実際に働かされている社員の方に質問をしたりしました。現場で直に見ることはできませんでしたが、有意義な学習となりました。

12月11日(金)は、八女市にある「タケヒロ九州」の現場に行って社会科見学を行いました。「タケヒロ九州」は、自動車の内装部品メーカーで、パッケージトレイは、生産量世界一の会社です。また、木質チップの代替となる「ケナフ」という自然素材を利用した製品開発も行われている環境に優しい企業です。私たちの地元である八女市にも素晴らしい技術を持ち、自動車産業を支えている工場があることを学ぶことができました。



8年生が桜の苗木を植えました！

12月8日(火)に8年生5人と武下先生・平賀先生で自転車置き場の東側に桜の苗木を植樹しました。この苗木は、11月20日(金)の矢部小・中一貫教育研究発表会で「日向神ダムの桜」を題材に武下先生が道徳の公開授業を行った際に子どもたちに資料として提示した苗木です。今は、春に満開になると素晴らしい景色を見せてくれる千本桜も60年前は、このような小さな苗木から始まったことやダムに沈んでも子どもや孫の世代に誇れる矢部村であってほしいという願いがこもっていることをこの道徳の授業で学習しました。8年生の10年後・20年後に立派に育って、千本桜の仲間入りをしてくれることを願っています。



9年生がお茶の淹れ方教室と保育実習を行いました！

12月9日(水)に9年生が、K・Yさんを講師にお招きして、お茶の淹れ方教室を行いました。

矢部小学校4年生以来2回目の体験でしたが、お茶の健康面での効果や緑茶・紅茶などの種類に応じたおいしいお茶の淹れ方などを質問形式で教えていただき、子どもたちは思い出しながら学ぶことができました。矢部で生活しながらも日頃急須でお茶を入れる経験がないことから、実際にお茶を淹れる際には緊張している様子がうかがえました。おいしいお茶を淹れて、おいしいお茶菓子(抹茶どら焼き)をいただいた体験でした。八女茶の素晴らしい文化を受け継ぎ、大人になってもおいしいお茶を急須で淹れる機会をつくり、いろんなところで八女茶を誇ってほしいと思います。



12月10日(木)は、9年生が矢部保育園で保育実習を行いました。家庭科の時間に自分たちでフェルトを縫って作ったおにぎりやエビフライが入ったお弁当箱やお手玉などのオモチャをお土産に持って行きました。もも組さんは、K・Kさんが、お部屋でボールを投げ合ったり、追いかっこをしたりして遊びました。ゆり・ばら・たんぽぽ組さんは、K・Cさん、S・Jさん、Y・A、Y・Tさんが、園庭で鬼ごっこをしたり、ブランコに乗ったり、ボールを蹴り合ったりして遊びました。園児の皆さんが喜んでくれたことに充実感を得た体験になりました。感想を要約して紹介します。



○行く前は、ただ遊んでいればいいと思っていました。行ってみるとなかなか接するのが難しくてなじめませんでした。でも、保育士さんたちが、小さい子の目線で話をされているのを見て僕も挑戦してみました。すると、幼児の顔も緩んで笑顔に変わりました。僕は、困っている人がいたら相手の目線にあわせ、相手の気持ちを考えながら接することを学びました。僕が、お父さんになったとき、今日のことを覚えておいて赤ちゃんに優しく接したいと思います。

○先生方は、幼児一人ひとりに気を配って大変そうだった。遊んでいる途中にきちんと休憩や水を飲む時間など体のことを考えておられて、さすがだと思った。また、幼児と一緒に遊んだりするときも、その子の好きなことを覚えておられたのすごかった。幼児は、恥ずかしがり屋な子やたくさんしゃべる子もいたので、幼児との接し方が分かってよかった。